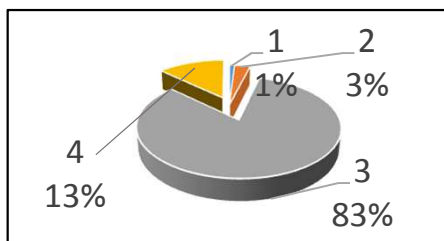


令和元年度 学校評価アンケート 結果(教職員)

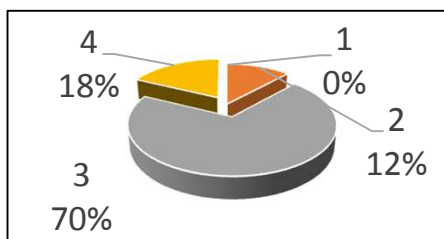
【評価】 4:できた 3:だいたいできた 2:あまりできなかった 1:できなかった

- 1 児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導や必要な支援を行うことにより、児童生徒にとって満足した学校生活にすることができたか。



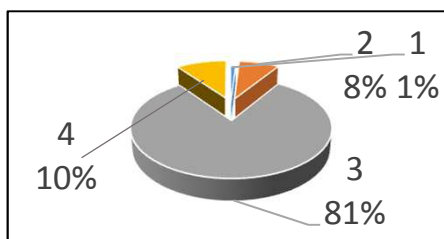
(中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。
(高) 子どもの視点から掘り下げて考えたい。

- 2 学校便りやホームページ等を通して、教育方針や学習の様子、特別支援教育に関する情報等を積極的に公開できたか。



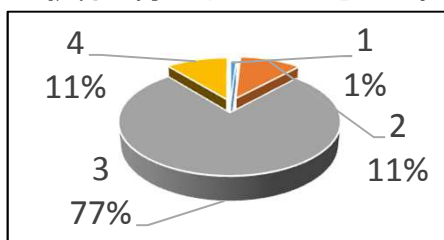
(小) ホームページを新しくしたことを知らない人が多いのではないかと。
(高) さらなる活用と周知を。

- 3 個別の指導計画に基づくPDCAサイクルによる指導内容・方法の工夫と適切な評価・改善を進めて、日々の授業の充実が図れたか。



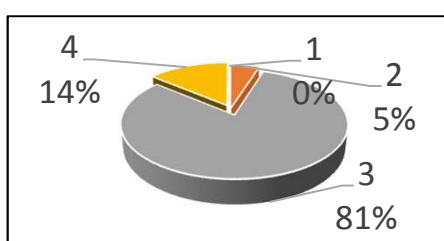
(小) 昨年度と同じ反省が多い。
(中) 教材研究や準備が不十分であると感じることがある。下校後に時間を決めて振り返りをしてはどうか。
(中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。

- 4 小中高の学部間の連携を図って、児童生徒のニーズと課題を引き継ぎ、小学部から高等部までの一貫した教育に努めることができたか。



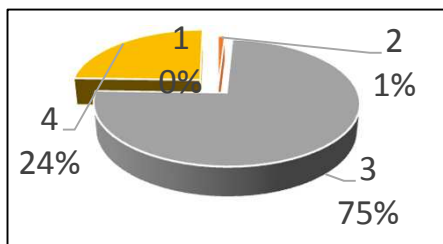
(中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。
(高) 各学部ごとに指導の充実を図ってきた。系統性については今後の課題。
(高) 引き継ぐ場を増やしたい。

- 5 障害特性や発達段階、生活環境等様々な観点から児童生徒を理解し、職員間の共通理解を図って、児童生徒一人一人の課題に応じたきめ細かい生徒指導を進めることができたか。



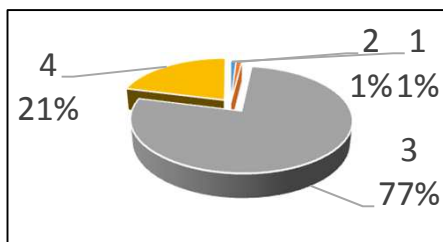
(中) 問題が出てから対応している。
(中) 職員間の日々の会話を増やしたい。

6 教職員が連携を図り、いじめや虐待等の防止や早期発見に努め、適切に対応することができたか。



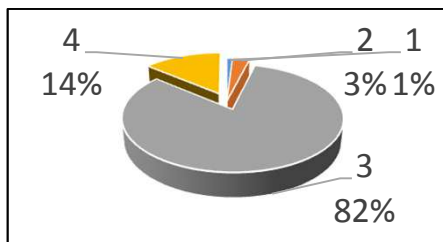
- (小) 相談したことがない。
- (中) 誤解を受けることのないよう、職員間で確認し合える雰囲気を作りたい。

7 学校行事や児童生徒会活動等の協働活動を通して、児童生徒間及び児童生徒と教職員間の信頼関係を築き、児童生徒の自主的・自律的な態度や社会性の育成が図れたか。



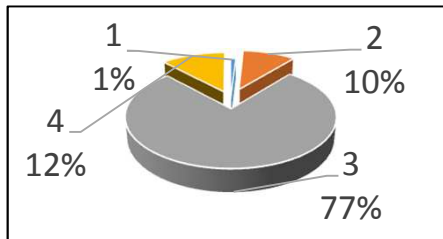
- (中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。

8 将来の自立と社会参加に向けて、キャリア教育を推進し、児童生徒の発達段階に応じて指導内容や方法の工夫・改善を図ってきたか。



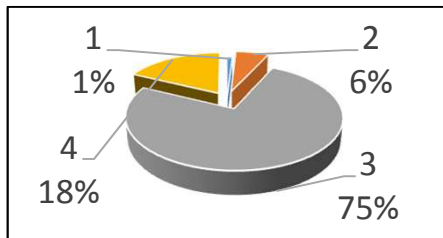
- (中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。
- (中) 授業研究で共通理解が図れている。継続したい。

9 高等部卒業後の進路や生活について、本人・保護者への適切な情報を提供するとともに、小学部段階から計画的・継続的な進路指導を行っているか。



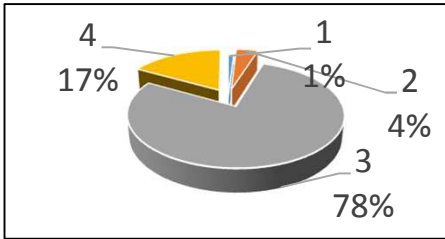
- (中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。
- (高) 重複で各学部集まり、情報の共有をすると良い。
- (高) 小・中学部からの情報の提供を。

10 体験活動を重視し、児童生徒の心に響く指導内容や方法を工夫して、学校の教育活動全体を通して道徳的心情や道徳的実践力を育てられているか。



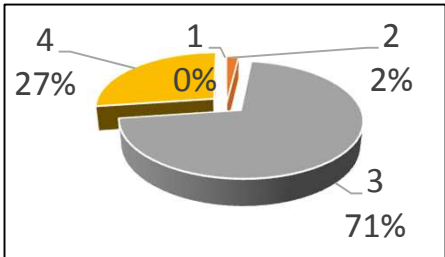
- (小) 前年度と同じではなく、子どもに合わせて見直したい。
- (中) 教師が子どもを引っ張るのではなく、子どもが考える場面を持たせたい。
- (中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。

11 家庭や関係機関と連携して児童生徒に栄養バランスのとれた食事の大切さを教えるとともに、運動に親しむ態度・習慣を育て、健康な体づくりに努めたか。



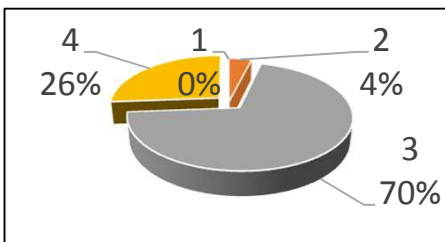
- (小) 家庭との連携が難しいこともあった。
- (中) 重複学級や重複籍の子どもたちへの指導に改善が必要。
- (高) もっと家庭と連携し、偏食指導の手立てを考えたい。

12 地震・津波等の自然災害や不審者侵入等を想定し、分かりやすい訓練を行って、児童生徒が非常時に危険を回避し、自分の身を守る力を養うことができたか。



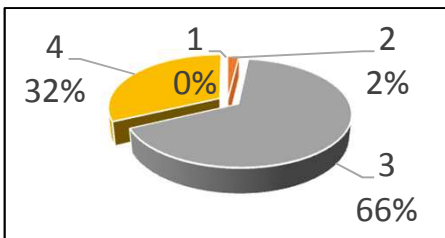
- (高) 停電・断水が続いた場合、福祉避難所開設は本当にできるのか。
- (高) 児童生徒がいるときに、不審者対応訓練を行ってみるのも良い。

13 安全、清潔で整った明るい教育環境になるよう、環境整備や美化に努めたか。



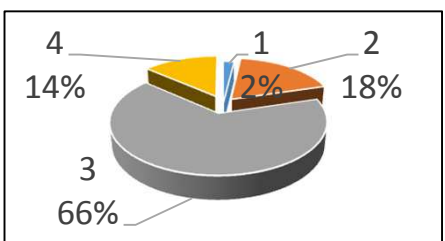
- (小・中) もっと工夫や掃除が必要。(2)
- (中) 登下校時、職員も昇降口で靴の履き替えをするべき。

14 教職員一人一人が不祥事防止に向けた意識の高揚を図るとともに、研修等に率先して取り組むことができたか。



- (中) 職員会議でのミニ研修が良い。
- (高・行) モラルアップ委員会の取り組みによって、不祥事防止への意識が高まった。(3)

15 教職員一人一人が「働き方改革」を意識して効率化を図り、業務改善に努めていくことができたか。



- (中) 働き方改革のためにも今の仕事の洗い出しが必要。
- (中) 学校全体で働き方改革を考えてこそ本当の改革となる。
- (中) 時間だけ減って、仕事内容は変わらない。(2)
- (中) 働く時間を意識するようになった。
- (高) 早く帰るだけが働き方改革ではない。
- (高) 主事の先生が様々な工夫をしてくれ、負担が軽くなった。
- (高) まだまだ改善は必要だが、この1年で個々の意識は高まってきた。
- (高) 意識はあっても具体的改善策を見いだせていない。
- (高) 全体的にはできているが、仕事が増えていると感じている人もいる。
- (行) 学校全体の意識が高まった。仕事の効率化を図っていきたい。(2)